

# 農政産業観光委員会会議録

日時 令和2年3月2日（月） 開会時間 午前10時  
閉会時間 午後1時55分

場所 第3委員会室

委員出席者 委員長 猪股 尚彦  
副委員長 流石 恭史  
委員 浅川 力三 久保田 松幸 水岸 富美男 杉原 清仁  
清水 喜美男 古屋 雅夫 佐野 弘仁

委員欠席者 なし

説明のため出席した者

観光部長 仲田 道弘 観光部次長 山岸 正宜  
観光企画課長 落合 直樹 観光プロモーション課長 瀧本 勝彦  
観光資源課長 三井 博志 国際観光交流課長 小泉 嘉透

農政部長 坂内 啓二 農政部理事 土屋 重文 農政部次長 上野 睦  
農政部次長（農政総務課長事務取扱） 大久保 雅直 農政部技監 依田 健人  
農政部技監 清水 一也 農政部副参事（耕地課換地管理員事務取扱） 福嶋 一郎  
農村振興課長 上野 公紀 果樹・6次産業振興課長 中込 正人  
販売・輸出支援室長 齊藤 武彦 畜産課長 渡邊 聡尚  
花き農水産課長 斉藤 修 農業技術課長 中村 毅  
担い手・農地対策室長 千野 浩二 耕地課長 山田 英樹

公営企業管理者 佐野 宏 エネルギー局長（企業局長併任） 市川 美季  
企業局理事（エネルギー政策推進監併任） 末木 憲生 企業局技監 平井 一仁  
エネルギー政策課長 砂田 英司 企業局総務課長 小林 桂  
企業局電気課長 高野 武

産業労働部長 中澤 和樹 産業労働部次長 小林 厚 産業労働部次長 杉田 真一  
産業労働部次長（産業政策課長事務取扱） 上野 良人  
労働委員会事務局長 上野 直樹  
商業振興金融課長 古澤 善彦 新事業・経営革新支援課長 有泉 清貴  
地域産業振興課長 古屋 万恵 企業立地・支援課長 雨宮 俊彦  
労政雇用課長 山岸 ゆり 産業人材育成課長 小林 靖  
労働委員会事務局次長 佐久間 浩之

議題（付託案件）

- 第48号 山梨県営石和温泉給湯使用料等徴収条例中改正の件
- 第49号 令和元年度山梨県一般会計補正予算第1条第2項歳出中農政産業観光委員会関係のもの及び第3条繰越明許費の補正中農政産業観光委員会関係のもの
- 第54号 令和元年度山梨県商工業振興資金特別会計補正予算

第58号 令和元年度山梨県営地域振興事業会計補正予算

審査の結果 付託案件については、原案のとおり可決すべきものと決定した。

審査の概要 まず、委員会の審査順序について、観光部関係、農政部関係、エネルギー局・企業局関係、産業労働部・労働委員会関係の順に行うこととし、午前10時から午前10時12分まで観光部関係、午前10時25分から午前11時3分まで農政部関係、午前11時20分から午前11時28分までエネルギー局・企業局関係、午後1時30分から午後1時55分まで産業労働部・労働委員会関係の審査を行った。

主な質疑等 観光部関係

※第49号 令和元年度山梨県一般会計補正予算第1条第2項歳出中農政産業観光委員会関係のもの及び第3条繰越明許費の補正中農政産業観光委員会関係のもの

質疑

(観光施設維持補修費について)

清水委員 観の3ページ、観光施設維持補修費、2,360万について質問いたします。頻発する自然災害、異常気象により被害を受けた県有歩道や指導標等を補修していく必要があることは十分理解できます。本事業は南アルプスで取り組んでいくとのことですが、該当箇所はどれくらいになるのでしょうか。

三井観光資源課長 現在、県が管理する登山道は20カ所ございます。昨年の台風19号の被害を確認したところ、そのうちの南アルプスにある登山道2カ所が、かなり被害を受けたことが判明しました。ただ、現在、降雪等により、調査が十分にできていないところもあることから、雪解けの後に、地元の山岳会等の協力を得て、調査を進めたいと考えております。

清水委員 つまり、被害を受けたのかどうかかわからない箇所もあるので、今後のスケジュールもまだ決まっていないということですか。

三井観光資源課長 おっしゃるとおりでございます。

(自然公園等施設整備費補助金について)

古屋委員 台風19号により西沢溪谷が被害を受けた際には、観光部の職員の皆様には何度も現地視察や調査を行っていただき、本当にありがとうございました。また、観の3ページ、自然公園等施設整備補助金についてですが、国の交付金を活用して取り組んでいただくことに対し、御礼を申し上げます。そこで、本事業について、具体的にどのような箇所を補修していく考えなのかお聞きしたいと思います。

三井観光資源課長 まず、山梨市の西沢溪谷については、山梨市が管理しているトロッコ道の崩落箇所等を中心に補修していくことを考えております。

次に、白根縦走線については、広河原から北岳山荘に向かう崩落箇所や、工作

物が壊れた箇所等を中心に補修をしていくことを考えております。

討論           なし

採決           全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

主な質疑等 農政部関係

※第49号 令和元年度山梨県一般会計補正予算第1条第2項歳出中農政産業観光委員会関係のもの及び第3条繰越明許費の補正中農政産業観光委員会関係のもの

質疑

(農業委員会指導費)

清水委員

農の2ページ、農業委員会指導費、5,569万円が計上されていますが、予算を確保できたのに、減額補正を行うのはとてももったいない話だと思います。農業委員会交付金や農地中間管理機構集積支援事業費補助金(農業委員会ネットワーク機構)のように、国補決定の減に伴い減額補正を行うことは理解できます。それ以外の、農地中間管理機構集積支援事業費補助金(農業委員会)や農地利用最適化交付金については、事業実績見込額の減に伴うものであるということについて、もう少し具体的に説明をいただきたいのですが。

大久保農政部次長(農政総務課長事務取扱) 課別説明書において、農業委員会指導費の内訳として、4つの事業が掲載されております。

簡単に御説明申し上げますと、1番目の農業委員会交付金は、全額国庫補助金により、委員の報酬や事務局職員の人件費を助成するものであり、これにより、農業委員会が運営されています。

2つ目の農地中間管理機構集積支援事業費補助金(農業委員会ネットワーク機構)についても、全額国庫補助金により、農業会議に助成するものであり、農業会議は、この補助金を活用し、市町村委員会等の研修や、農地の相談業務を実施しております。

3つ目の農地中間管理機構集積支援事業費補助金(農業委員会)も、全額国庫補助金により、市町村の農業委員会に助成し、市町村の農業委員会はこの補助金を活用し、農地の利用状況調査等を毎年実施しております。

最後の農地利用最適化交付金が最も高い金額になりますが、全額国庫補助金により、いわゆる活動実績分と成果分の積み上げで交付額を決定し、交付するという仕組みになっております。農業委員等が農地の集積・集約化に向けて活動実績と、その成果に対して助成するものであり、結果的には、それらの者の報酬に充当されることとなっております。

以上が、事業の目的と用途でございます。

清水委員

事業実績見込額の減ということですが、多額の金額が予算計上されたのですから、計画していなかったところに充当して、もっと先へ進めるという仕事が発生するべきではないかと思うのですが、どうしてできないのですか。

大久保農政部次長(農政総務課長事務取扱) 当然、伸びる市町村もあれば、へこむ市町村もあります。それらをトータルして整理を行ったものであると御理解いただければと思います。

(耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業費について)

清水委員

同じような質問になりますが、農の13ページ、耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業費については、事業実績見込額の増に伴い、7,526万円の増額補正となっておりますが、このような多額の金額となる理由は何でしょうか。

山田耕地課長 当該事業は、農家の高齢化や担い手不足等により、農地の荒廃が進行し、将来にわたって農業が困難となった農地について、集積・集約化を図るため、区画整理や農道等ハード面での基盤整備を行うものです。

このような基盤整備により、荒廃農地の解消を図り、多様な担い手の農業参入を支援する事業ですが、今回の補正に関しては、北杜市武川町の中山地区において、平成27年度から事業に着手し、荒廃農地化した約22ヘクタールの農地の再生を図るため、区画整理や農業用排水路等の基盤整備を計画的に進めています。

清水委員 北杜市の事業であるとのことですが、計画した後に、7,500万円増額する補正予算を組むということは、計画段階の想定以上に費用がかかったということですね。その要因は何でしょうか。

山田耕地課長 今回の事業に関しては、平成27年度から事業を進めており、全体の総事業費のうち、補正予算で来年度に施工を予定したところを、前倒しで施工するものになります。

浅川委員 清水委員の質問に関連しますが、武川町の中山地区の話が出てきたので、耕地課長にお伺いします。この計画は今進んでいるのか、止まっているのか。

山田耕地課長 中山地区に関しては、従前が耕作放棄地であり、現在、換地業務等を行い、造完了後、企業に貸し付ける計画として進めています。

(畑地帯総合整備事業費について)

浅川委員 質問をちょっと変えます。国では安心と成長の未来を拓く総合経済対策として、1月末に補正予算が成立しました。県が計上した26億5,000万円余の補正予算について、耕地課では具体的にどのように予定しているのか、説明をしていただきたいと思います。

山田耕地課長 今回の経済対策に伴う農林水産省の補正予算は、畑地や樹園地の産地化、中山間地域の振興、防災・減災、国土強靱化のさらなる推進を重点項目として編成されております。これを踏まえて、県では、農政部が重点的に推進する施策に合致する、農業競争力を高める基盤整備や、特色を生かした営農の確立、緊急避難路や地滑り対策など、農村地域の防災・減災対策について、早期に整備を望む地域のニーズなどを踏まえ、補正予算を計上しています。

浅川委員 今回の補正予算には、今説明されたように畑地帯総合整備事業費が大きく計上されており、公共工事等予定箇所表には、私の地元の茅ヶ岳西麓地区について予算4,514万円が計上されていますが、説明していただきたいと思います。

山田耕地課長 畑地帯総合整備事業費は、茅ヶ岳西麓地区ほか13地区において、本県の基幹産業である農業の成長産業化を図るため、圃場や農道、用排水路などの生産基盤を整備し、耕作放棄地の解消や農産物の高品質化、農産物の省力化などを行うこととしております。

なお、茅ヶ岳西麓地区については、本補正予算を活用し、圃場に付帯する排水路を整備することで、地区の整備がおおむね完了し、参入する農業法人による醸造用ブドウの栽培が本格化することとなります。

浅川委員 部長に改めてお伺いします。

本県の農業を維持発展させるためには、生産基盤である農地や農道等の整備が大変重要であると私は感じております。

そこで、本予算にどのような効果があるのか、部長にお聞きします。

坂内農政部長 本県の果樹地帯や畑地帯には、いまだに小区画で不整形な圃場が多いことから、産地の競争力強化に向けて、生産基盤を改善することが重要でございます。このため、圃場や農道、用排水路など、担い手のニーズに即して、きめ細かな整備を行い、また、今回成立した国の補正予算などを活用し、農作業の効率化や省力化など、効果が早期に発現されることで、山梨農業基本計画の第一項目で掲げています生産者のさらなる所得の向上の実現につなげていきたいと考えております。

討論 なし

採決 全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

主な質疑等 エネルギー局・企業局関係

※第48号 山梨県営石和温泉給湯使用料等徴収条例中改正の件

質疑 なし

討論 なし

採決 全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

※第49号 令和元年度山梨県一般会計補正予算第1条第2項歳出中農政産業観光委員会関係のもの及び第3条繰越明許費の補正中農政産業観光委員会関係のもの

質疑 なし

討論 なし

採決 全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

※第58号 令和元年度山梨県営地域振興事業会計補正予算

質疑 なし

討論 なし

採決 全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

主な質疑等 産業労働部・労働委員会関係

※第49号 令和元年度山梨県一般会計補正予算第1条第2項歳出中農政産業観光委員会関係のもの及び第3条繰越明許費の補正中農政産業観光委員会関係のもの

質疑

(雇用推進事業費について)

清水委員 産の8ページ、雇用推進事業費について質問します。

山梨県の産業振興を考えるとときに、本事業が一番重要であると思っています。まず、1番目のUターン・Iターン就職促進事業費について、事業費の減に伴う補正が発生したとのことですが、これはどういう内容でしょうか。

山岸労政雇用課長 やまなし暮らし支援センターの業務委託経費の中で、センターの機能の一部を新たに大手町に設置したUIターン就職支援センターに業務移管したことによるものです。

清水委員 業務移管がこの数字にどう結びつくのですか。

山岸労政雇用課長 やまなし暮らし支援センターの面積について、20㎡から10㎡に縮小し、その縮小分の機能が新たに設置したUIターン就職支援センターへと移転したということです。

清水委員 わかりました。

次に、2番目のUIJターン促進事業費補助金について説明をお願いします。

山岸労政雇用課長 UIJターン促進事業費補助金は、プロフェッショナル人材の戦略拠点を活用し、本県に移住された方のための補助金になります。県外から住民票の移動を伴って移住した方が少なかったことから、減額に至ったものです。

清水委員 わかりました。

次に、3番目の成長分野就業体験支援事業費補助金について、訓練期間が短く終わったため2,000万円の減額補正を行うとのことですが、訓練は、計画に基づいて予算が組まれ、実施されるものであると思います。今回、訓練期間が短く終わったのはどういう理由ですか。

山岸労政雇用課長 本事業では、予算計上の際に、訓練期間1カ月から最長4カ月までの期間を設けており、当初予算を計上する際は、最大の4カ月間を計上していたものです。しかし、各企業の状況により、訓練期間1カ月の方が多かったこと、また、当初の見込みよりも申請者の数が少なかったことなどから、減額補正を行うものです。

清水委員 申請者が少なかったときに、他の企業に呼びかけるような、そういう柔軟な対応はなかったのですか。

山岸労政雇用課長 メールなどさまざまな方法を通じて、周知を図ったのですが、今年度の活用がこれくらいにとどまったということです。

討論 なし  
採決 全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

※第54号 令和元年度山梨県商工業振興資金特別会計補正予算

質疑 なし

討論 なし

採決 全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

その他

- ・午後1時30分の再開に先立ち、委員長から各委員に、午後1時から開催された山梨県議会災害対策連絡会議の内容が伝達された。
- ・本委員会が審査した事件に関する委員会報告書の作成及び委員長報告については委員長に委任された。

以 上

農政産業観光委員長 猪股 尚彦